



南消防団**外国人防災指導チーム**が

商店街で**多言語による熱中症予防広報**を展開!!

令和3年4月に横浜市内で初めて発足した南消防団**外国人防災指導チーム**が多言語（日本語、中国語、韓国語、英語の4か国語）により**横浜橋通商店街**で熱中症予防を呼びかけます。

昨年における横浜市内の熱中症による救急搬送者は1,284人、南区内では63人(前年比3人増)を記録しました。商店街と関係機関の連携による熱中症予防キャンペーンを展開し、市民に注意喚起します。

また、本取組はSDGs（持続可能な開発目標）の17ある目標のうち、10番、13番及び17番に位置付けて実施します。

1 日時

令和3年6月29日（火）午後2時00分から午後3時00分まで

2 場所

横浜橋通商店街（南区高根町1-4）

3 実施内容

横浜橋通商店街にご協力をいただき、横断幕(1.8m×3.4m)、バナー*及びポスター(A3)の掲出、放送設備を活用した多言語による熱中症予防アナウンスを行います。また、商店街の買い物客や外国籍経営者に対して、南消防団外国人防災指導チームが店舗巡回等による熱中症予防を呼びかけます。

※商店街内の高さ約7mの位置にある約70か所の広告旗

4 参加機関

横浜橋通商店街、南火災予防協会、南消防団、南消防署

5 南消防団外国人防災指導チームについて

市内で3番目に外国人居住者が多い南区*で、外国人に対する防災指導や災害時における避難誘導などを行うことを目的に、令和3年4月6日に発足しました。

外国人消防団員（中国籍、韓国籍）4名と外国語の会話ができる日本人消防団員（英語、中国語）6名の計10名で編成しています。

※令和3年5月末現在 10,520人



外国人防災指導チーム
発足式の様子

6 取材について

- (1) 取材を希望される場合は、6月28日（月）までに下記お問合せ先へご連絡の上、当日の午後1時50分までに「横浜橋通商店街協同組合事務所」（案内図参照）に直接お越しください。取材時は、マスク着用等の感染防止対策にご協力をお願いします。
- (2) 大規模災害の発生や天候等により、キャンペーン内容を中止又は一部縮小する場合があります。その際は、取材申込みをいただいた方へご連絡させていただきます。
- (3) 神奈川県及び横浜市内における新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令された場合は、キャンペーンの一部を縮小することとし、商店街におけるブース出展や手配りによるチラシ配布等、接触を伴うものを中止します。その他については、実施します。

【参考】本取組におけるSDGsの位置づけ

ゴール	ターゲット	位置づけ
10 人や国の不平等をなくそう	10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的含有を促進する。	在住外国人が多い南区において、外国人防災指導チームによる多言語による対応により、熱中症予防対策を強化する。
13 気候変動に具体的な対策を	13.1 全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱化（レジリエンス）及び適応能力を強化する。	温暖化に伴う熱中症関連の災害を予防する。
	13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。	やさしい日本語及び多言語による広報で年齢や言語を問わず、熱中症に対する理解を促進する。
17 パートナーシップで目標を達成しよう	17.17 様々なパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。	商店街と連携することにより、効率的・効果的な広報を展開する。

【案内図】



《交通アクセス等》

- ・市営地下鉄ブルーライン
阪東橋駅下車1番出口 徒歩約8分
- ・自動車でお越しの際は、周辺のコインパーキング等をご利用ください

お問合せ先

消防局南消防署総務・予防課長 佐藤 茂雄 Tel 045-253-0119